

## 「ひかりっ子」だより

(宇土小学校だより)

令和2年9月 校長 樫木浩孝

### ○2学期が始まりました。

例年と違った短い夏休みが終わり、8月17日から2学期が始まりました。今年は新型コロナウイルス感染予防で、家族でどこかに出かけたり、遠いところの親戚の方を受け入れたりすることが難しい状況ではなかったでしょうか。私も家族とどこかに出かけるということもなく、唯一、実家のお墓参りに出かけたくらいでした。



6年生の外国語科の授業の様子

さて、この2学期は三つの学期の中で最も長く、子どもたちは現在の学年での成長を最も期待できる学期です。ここでの成長は、次年度の成長へ確実につないでいくためにとても大



5年生の体育の授業の様子

切なことです。しかし、新型コロナウイルス感染予防を優先していくことが求められており、思ったような教育活動が行えない可能性があります。できるだけ教育効果を高める工夫をしながら、取り組んでいくつもりですが、ご家庭のご協力も例年以上に必要なことが予想されます。お仕事が大変なこともあると思いますが、お子さんの成長のため、どうぞよろしくお願いいたします。

### ○運動会の開催について、ご理解とご協力を改めてお願いします。

先日文書で運動会の開催について、例年とは異なった形で行うことのお知らせと、保護者のご理解とご協力をお願いをいたしました。その中で、特に1～5年生の保護者の皆様には、参観をお断りせざるを得ない状況のため、残念な思いになっていらっしゃると思いますが、保護者の密を避けるため、どうぞご理解ください。学校としてもとても残念な気持ちです。

また、6年生の保護者の皆様には、前半と後半の児童の入れ替えに合わせて校内に入ってくださいと予定しています。学校から後日配付します「参観券」に必要事項を記入のうえ当日持参いただき、受付で入校許可カードと交換してもらおうと考えています。校内では常にそのカードを首から提げておいてください。PTA役員の方に巡回していただく予定にしており、許可を受けている保護者であることが分かるようにしたいと思います。

詳しくは、後日改めて文書にてお知らせいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

もちろん、新型コロナウイルス感染防止対策と熱中症防止対策を行って、練習及び運動会につないでいきます。

### ○ホントに「だめ!」で・・・(病院での出来事)

以前、ある病院の待合室にいたときのことで。2歳くらいの男の子を連れて若いお母さんが入ってこられました。受付を済ませ、二人でイスに座って順番を待たれているときのことで。そのお母さんは、男の子が歩いて離れようとする「行ったらだめ!」、靴を履いたままイスに上がろうとすると「靴はだめ!」など、毎回その子の頭を軽く叩きながら強く言われるのです。しつけのつもりでされているのだと思うのですが、見ていて苦しくなりました。すべてが同じレベルの「だめ!」なのです。「一緒にいるんだよ」とか「イスの上は靴を脱ぐんだよ」と、否定でなく、肯定で教えられたら叩かなくていいし、「だめ!」が本当にだめなときに使えるのにと感じて見していました。

しかし、自分自身の子育てを振り返ってみると、「自分の思うような言動を子どもができないときに、今思ったようなことが100%できたとはいきれないなあ。」「自分の子どもには感情が先に出てきて、子育ては本当に難しいなあ…」と、思っているとき「樫木さ〜ん」と呼ばれ、診察室に入りました。